

研究課題：小児期発症の溶連菌感染後糸球体腎炎における尿蛋白持続の危険因子の検討

1. 研究の目的

小児期発症の溶連菌感染後糸球体腎炎における尿蛋白持続の危険因子の検討

2. 研究の方法

2003年10月12日～2020年3月31日までに当科で入院加療を要した溶連菌感染後糸球体腎炎の患者様が対象となります。診療録をもとに後方視的に入院中の臨床経過、治療経過、予後を検討します。

3. 研究期間

2020年3月12日（倫理委員会承認後）～2020年7月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録のみ

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

本研究の内容に関しては後に学会または誌上で発表し公表する予定

6. 研究組織

研究責任者

埼玉県立小児医療センター 腎臓科 科長兼副部長 藤永 周一郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年5月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）